



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 塩野義製薬株式会社  
コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 高木 浩樹

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日

TEL 06-6202-2161

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	138,715	1.0	28,460	7.7	27,828	10.9	21,405	44.0
25年3月期第2四半期	137,322	10.7	26,421	—	25,095	36.2	14,863	81.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 34,383百万円 (225.1%) 25年3月期第2四半期 10,577百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	63.92	63.88
25年3月期第2四半期	44.38	44.36

(注) 当社は平成26年3月期第1四半期より訴訟関連費用に関わる表示方法の変更を行っております。このため平成25年3月期第2四半期連結累計期間の営業利益については当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しておりますが、対前年同四半期増減率については算定していないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	589,328	450,181	75.8
25年3月期	574,882	423,633	73.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 446,564百万円 25年3月期 420,110百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年3月期	—	20.00	—	22.00	円 銭	42.00
26年3月期	—	22.00	—	—	円 銭	—
26年3月期(予想)	—	—	—	22.00	円 銭	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	284,800	0.7	62,000	4.1	61,000	3.5	43,000	△35.6	128.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は平成26年3月期第1四半期より訴訟関連費用に関わる表示方法の変更を行っております。このため平成26年3月期の営業利益の対前期増減率については平成25年3月期実績を当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を用いて算出してしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	351,136,165 株	25年3月期	351,136,165 株
26年3月期2Q	16,239,572 株	25年3月期	16,236,003 株
26年3月期2Q	334,897,986 株	25年3月期2Q	334,900,195 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,387億15百万円、営業利益284億60百万円、経常利益278億28百万円、四半期純利益214億5百万円となりました。

売上高につきましては、国内医療用医薬品において、最重要戦略3品目である「クレストール」「イルベタン」「サインバルタ」をはじめとする戦略品目が堅調に推移して既存品の減少を補い、前年同期比1.5%の増加となりました。また、海外におきましては、米国子会社シオノギINC.の業績が安定してきたことを受け、海外・輸出売上高は前年同期比3.7%の増加となりました。これらにより、売上高全体では前年同期比1.0%の増加となりました。

一方、利益面では、製造経費の削減努力や、シオノギINC.の売上高の回復に伴う原価率の改善もあり、売上総利益は前年同期比4.5%の増加となりました。また、販売費及び一般管理費につきましては、シオノギINC.が今後主力製品とする閉経後陰萎縮症治療薬「Osphena™」の販売関連費用や研究開発費が増加しましたが、国内営業経費削減への取り組みが奏功し始めたこともあり、前年同期比3.3%の増加にとどめることができたため、当第2四半期連結累計期間の営業利益は284億60百万円で前年同期比7.7%の増加となりました。また経常利益については、為替の影響もあり、278億28百万円と、前年同期比10.9%の増加となりました。四半期純利益は、前述の利益の増加や固定資産売却に係る特別利益の発生があったことに加え、シオノギINC.株式評価損の損金算入額の変更による税金費用の減少があったこともあり、前年同期比44.0%の大幅増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は5,893億28百万円で、前連結会計年度末と比べて144億46百万円増加しました。流動資産は、有価証券や商品及び製品の増加などにより、前連結会計年度末より61億64百万円多い2,730億10百万円となりました。固定資産は、株式市況の影響による投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末より82億81百万円増加し、3,163億18百万円となりました。

負債合計は1,391億47百万円で、前連結会計年度末と比べて121億2百万円減少しました。流動負債は、1年内返済予定の長期借入金70億円の減少、一方で固定負債から1年内償還予定の社債へ200億円の振替えなどがあり、前連結会計年度末より58億99百万円多い1,041億7百万円となりました。固定負債は、前述の1年内に償還期限到来予定となった社債の短期への振替えなどにより、前連結会計年度末より180億1百万円少ない350億40百万円となりました。

純資産合計は4,501億81百万円で、前連結会計年度末と比べて265億48百万円増加しました。株主資本は、四半期純利益の計上や配当金の支払などにより、前連結会計年度末より140億29百万円多い4,428億2百万円となりました。その他の包括利益累計額は、主に為替の変動による為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末より124億23百万円多い37億61百万円となりました。また、新株予約権と少数株主持分は、それぞれ84百万円、9百万円増加し、2億7百万円、34億8百万円となりました。

#### 2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、407億7百万円の収入となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益321億34百万円、減価償却費66億23百万円、のれん償却額13億30百万円などによるキャッシュ増加や、法人税等の還付などによる収入で、前年同期比77億32百万円の収入増でした。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、無形固定資産の取得による支出などにより、62億96百万円の支出となり、前年同期比25億57百万円の支出減でした。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、長期借入金の返済70億円、配当金の支払73億66百万円などにより144億9百万円の支出となり、前年同期比94億19百万円の支出減でした。

これらを合わせた当第2四半期連結累計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は203億27百万円のキャッシュ増加となり、当第2四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、1,218億71百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月9日に公表した平成26年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 1. 連結業績予想の修正

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	287,000	60,000	59,000	37,000	110.48
今回発表予想 (B)	284,800	62,000	61,000	43,000	128.40
増減額 (B-A)	△2,200	2,000	2,000	6,000	—
増減率 (%)	△0.8	3.3	3.4	16.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	282,903	59,565	58,922	66,727	199.25

(注) 当社は平成26年3月期第1四半期より訴訟関連費用に関わる表示方法の変更を行っております。このため平成25年3月期の営業利益については当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を記載しております。

## 2. 業績予想の修正理由

売上高につきましては、医療用医薬品、製造受託を中心に直近の見通しから予想の修正を行いました。営業利益、経常利益につきましては、ロイヤリティー収入の増額および原価、販管費における節減が進む見通しですので、予想の修正を行いました。当期純利益につきましては、利益増の見通しに加え、第1四半期に発生しました米国子会社シオノギINC.の株式評価損に関する損金算入額の変更による税金費用の減少があり、通期でも見直しを行いました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当する事項はありません。

(追加情報)

(訴訟関連費用の表示区分の変更)

訴訟に関連する費用は、従来、重要性が乏しいため、訴訟に関連しない法務関係の費用とともに「販売費及び一般管理費」に含めて計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「営業外費用」の「訴訟関連費用」に計上することといたしました。

この変更は、海外取引の拡大に伴い外国企業等との訴訟案件が増加してきており、金額的重要性が増してきたことや、今後もグローバルに活動していくことで当該費用の増加が見込まれることから、改めて表示方法を検討した結果、訴訟に関連する費用については営業外費用に含めて表示することが当社グループの実態をより適切に表すと判断したことによるものであります。

当該表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「販売費及び一般管理費」として表示していた71,003百万円のうち314百万円を「営業外費用」の「訴訟関連費用」として組み替えております。また、この変更により、前第2四半期連結累計期間の営業利益は、26,106百万円から26,421百万円に増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,575	23,713
受取手形及び売掛金	67,908	64,867
有価証券	84,432	100,900
商品及び製品	26,531	29,251
仕掛品	14,024	14,746
原材料及び貯蔵品	8,771	10,204
その他	43,612	29,348
貸倒引当金	△12	△21
流動資産合計	266,845	273,010
固定資産		
有形固定資産	78,473	76,944
無形固定資産		
のれん	40,293	41,901
その他	30,171	27,905
無形固定資産合計	70,464	69,807
投資その他の資産		
投資有価証券	122,628	133,614
その他	36,560	36,042
貸倒引当金	△90	△90
投資その他の資産合計	159,098	169,566
固定資産合計	308,036	316,318
資産合計	574,882	589,328
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,734	11,805
短期借入金	7,500	7,500
1年内返済予定の長期借入金	31,500	24,500
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払法人税等	1,146	3,528
賞与引当金	7,134	7,193
返品調整引当金	6,459	5,199
その他の引当金	26	—
その他	33,706	24,380
流動負債合計	98,207	104,107
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	10,027	10,032
退職給付引当金	8,995	9,016
その他	14,018	15,991
固定負債合計	53,041	35,040
負債合計	151,249	139,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	407,007	421,045
自己株式	△19,741	△19,749
株主資本合計	428,772	442,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,055	18,261
繰延ヘッジ損益	△450	△32
為替換算調整勘定	△24,267	△14,467
その他の包括利益累計額合計	△8,662	3,761
新株予約権	123	207
少数株主持分	3,399	3,408
純資産合計	423,633	450,181
負債純資産合計	574,882	589,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	137,322	138,715
売上原価	40,213	37,246
売上総利益	97,109	101,468
販売費及び一般管理費	70,688	73,008
営業利益	26,421	28,460
営業外収益		
受取利息	185	171
受取配当金	622	1,102
その他	304	523
営業外収益合計	1,112	1,797
営業外費用		
支払利息	605	469
寄付金	664	744
訴訟関連費用	314	652
その他	853	561
営業外費用合計	2,438	2,428
経常利益	25,095	27,828
特別利益		
固定資産売却益	228	4,203
投資有価証券売却益	551	554
特別利益合計	779	4,757
特別損失		
たな卸資産評価損	—	451
投資有価証券評価損	1,091	—
特別損失合計	1,091	451
税金等調整前四半期純利益	24,783	32,134
法人税、住民税及び事業税	10,278	2,705
法人税等調整額	△382	7,987
法人税等合計	9,896	10,693
少数株主損益調整前四半期純利益	14,887	21,441
少数株主利益	24	36
四半期純利益	14,863	21,405

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,887	21,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192	2,206
繰延ヘッジ損益	570	417
為替換算調整勘定	△5,072	10,317
その他の包括利益合計	△4,309	12,941
四半期包括利益	10,577	34,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,517	33,829
少数株主に係る四半期包括利益	60	554

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	24,783	32,134
減価償却費	5,962	6,623
のれん償却額	1,874	1,330
有形固定資産処分損益(△は益)	△228	△4,209
受取利息及び受取配当金	△807	△1,273
支払利息	605	469
為替差損益(△は益)	359	168
売上債権の増減額(△は増加)	1,860	3,472
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,229	△4,858
仕入債務の増減額(△は減少)	4,200	993
その他	2,126	△4,738
小計	41,967	30,113
利息及び配当金の受取額	810	1,263
利息の支払額	△579	△467
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△9,222	9,799
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,975	40,707
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,157	△4,673
定期預金の払戻による収入	4,425	4,487
有価証券の取得による支出	△19	—
有価証券の償還による収入	2,020	2,021
有形固定資産の取得による支出	△5,726	△3,588
有形固定資産の売却による収入	460	4,746
無形固定資産の取得による支出	△2,896	△6,952
投資有価証券の取得による支出	△4,949	△2,018
投資有価証券の売却による収入	2,191	645
子会社株式の取得による支出	—	△951
その他	△201	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,853	△6,296
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△7,000	△7,000
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△6,688	△7,366
その他	△140	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,829	△14,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△657	326
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△364	20,327
現金及び現金同等物の期首残高	98,687	101,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	98,322	121,871

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。